

子どもたちとともに 学び続ける教員であるために

川崎市教員育成指標

<ステージ^{ゼロ}0>



平成31（2019）年3月
川崎市教育委員会

まえがき

「川崎市教員育成指標」は、平成30年3月に教員としての資質・能力を示し、それぞれの教員がその職責、経験等に応じて、自らの目標を定め、自ら学び続けるための目安とする目的で策定したものです。

今年度は、養護教諭及び学校栄養職員・栄養教諭の専門的資質・能力を示した育成指標を策定し、また、川崎市の教員を志す学生や社会人に向けて、着任時に求められる資質・能力を示した教員育成指標<ステージ0^{ゼロ}>も策定しました。

川崎市の教員を目指すにあたり、この着任時に求められる教員育成指標<ステージ0^{ゼロ}>を具体的にイメージするとともに、教員として必要な基礎的、専門的な資質・能力を捉え、日々の生活や学びの中で、資質・能力を高めていってほしいと考えています。

特に、学生の皆さんは、大学外での子どもたちとの触れ合いも大事にしてください。ボランティア等の経験も大事です。また、大学生活において、教壇に立った時に子どもたちに語ることのできる豊かな経験をしてください。そして、学級をまとめていくために、学生時代にもリーダーシップをとって集団をまとめ、仲間と共に充実感、達成感等を味わう体験をしてきてください。大学での様々な経験は、必ず教員としての生活を支え、豊かにします。

「教員は、学び続ける限りにおいて教員であり得る」という言葉がありますが、教員となったあとも、教員としても人間としても、毎日の教育活動や研修を通して、その資質・能力を伸ばしていくことができるよう、皆さん一人ひとりを、川崎市は支援していきます。川崎市の教員を目指し、子どもたちとともに学び続ける皆さんを待っています。

教員育成指標<ステージ0>

○教員育成指標<ステージ0>とは

ステージ0は、川崎市の教員として、着任時に求められる資質・能力を示したもので、川崎市の教員を目指すうえで、着任時までに身に付けてほしい教員として必要な資質・能力の目安となるものです。

○川崎市の教員として「着任時に求められる資質・能力」

川崎市では、子どもに寄り添い、子どもの願いを受け止め、子どもに意欲と感動を生み出していくことのできる教師を求めています。

そのために、大学生活、大学の教員養成課程等において、教職を担うにあたり、教員として必要となる素養として、教育に対する真摯な姿勢と子どもへの深い教育的愛情をもち、教員として求められる資質・能力の基盤を形成してほしいと願っています。

川崎市教員育成指標<ステージ0>は、ステージⅠ～Ⅲと同様に、教員として求められる基礎的資質・能力と専門的資質・能力に分け、次のように整理しています。

《教員としての基礎的資質・能力》

1 教員としての基礎的資質・能力

○教員として学び続ける力

自ら学ぶ姿勢を持ち、社会の状況を把握して、変化に対応し、教員を目指して成長するために学び続ける

- ・人間性
- ・社会性
- ・自己管理能力

これから教員として生きていくライフステージのスタートに当たり、今後の川崎市での教員生活を意識して高めてほしい資質・能力として示しています。

《教員としての専門的資質・能力》

2 教員としての専門的資質・能力

(1) 学習指導等

○授業を計画する力

学習指導要領等、学習指導に必要な基礎的な知識について理解するとともに、授業の目標を明確にし、目標の実現に向けた指導展開を踏まえた授業づくりを行おうとする。

(2) 児童生徒指導等

○子どもを理解する力

子どもの発達の段階と、子ども一人ひとりの実態把握の必要性について理解し、子ども一人ひとりに向き合い、子どもの話に耳を傾け、子どもと一緒に考え行動しようとする

(3) 学校マネジメント

○組織を意識できる力

学校組織や校務分掌、学級担任の役割や仕事内容を理解し、組織の一員として行動している

専門的資質・能力については、学校で勤務したことはなく、教育実習等の経験や、模擬授

業等の体験であっても、教員養成課程等での学びにおいて、「授業を実施し、子どもを育て、学校で役割を持って活躍する」ということをしっかりイメージして、教員を目指す中で、どのような資質・能力を身に付けることが求められるのかを意識してほしいと考えています。

・学習指導等

学習指導要領等を理解し、授業の目標を明確にし、目標の実現に向けて授業づくりを行うことを示しています。特に、学習指導案の作成については、学習指導案作りの技能を身に付けることだけでなく、まず授業計画が大事であるということを理解し、授業計画を「学習指導案」に表現することができるような学びをしてほしい、と考えています。

また、川崎市ではすべての子どもが「わかる」授業づくりに取り組んでいます。一人ひとりの子どもの学習状況を把握し、授業の目標を明確にしたうえで、どのような手立てをとればよいかを考え、適切に授業を展開し、適切な場面、方法で子どもの学習を評価し、また指導に生かしていく。ぜひ、川崎市が大切にしている学びについての理解を深めてください。

・児童生徒指導等

子ども一人ひとりの実態把握の必要性を理解し、特別な支援が必要な子どもの存在を理解し、認め、一人ひとりに応じた指導が必要なこと、それを踏まえて、集団を成長させる指導が必要なこと、そして、それらを子どもと一緒に考え、行動することを示しています。

そのために、川崎市で推し進めていることへの理解も必要です。川崎市では川崎版キャリア教育である「キャリア在り方生き方教育」を、すべての教育活動の基盤として取り組んでおり、子どもたちの社会的自立を促しています。また、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導、特別支援教育、いじめの防止や不登校児童生徒への支援、外国につながる子どもへの支援など、川崎市が大事にし、取り組んでいることについても理解してほしい、と考えています。

・学校マネジメント

学校において管理職や同僚と協働的に仕事をする必要性や、保護者や地域を理解し、関わる必要性を理解することを示しています。さらに、学校における危機管理の視点として、子どもの安全、子どもの命を守る責任が、教員にはあるのだと考えてほしいと思っています。

川崎市では、経験が浅い教員であっても、一人ひとりにできるマネジメントの姿があると考えています。若い、経験の浅い教員も、川崎市の子どもたちにとって必要な存在であり、学校にとって、地域にとって大切な人材です。

○指標の活用

川崎市の学校教員募集のパンフレットには、「川崎市が着任時に求める教師像」として次の4つが示されています。

- ・子どもの話にきちんと耳を傾けることができる教師
- ・子どもと一緒に考え行動することができる教師
- ・子どもに適切なアドバイスを与えることができる教師
- ・教材研究がきちんとできる教師

川崎市の教員を目指すにあたり、この着任時に求める教師像をイメージするとともに、教員育成指標<ステージ0>で、教員として必要な基礎的、専門的な資質・能力を捉え、具体的に資質・能力を高めていく生活、学びを行ってほしいと考えています。

まず、基礎的資質・能力の指標は、「教員として」としながらも、社会人として、人間として必要な資質・能力と捉え、これから川崎市の教員になろうとしている人が、自ら磨いていってほしいことです。

また、専門的資質・能力の指標は、「授業を実施し、子どもを育て、学校で役割を持って活躍する」ということをイメージして学んでほしい、というものです。

教員養成課程での授業づくりや模擬授業等では、子どもたちの存在をイメージして取り組んでください。授業は必ず「こうすれば、こうなる」といったものがあるわけではありません。繰り返し経験していく中で改善されていくものです。ですから、経験がない中では、子どもがどのように考えるか、どのように行動するかを、考えながら取り組むことが大切です。

また、大学外の子どもとの触れ合いも大事にしてください。ボランティア等の経験も大事です。また、川崎市では「教育活動サポーター」など、学校に直接かかわることのできる事業もあります。

さらに、大学生活において、教壇に立った時に子どもたちに語ることでできる豊かな経験をしてください。そして、学級をまとめていくために、学生時代にもリーダーシップをとって集団をまとめ、仲間と共に充実感、達成感等を味わう体験をしてきてください。大学での様々な経験は、必ず教員としての生活を支え、豊かにします。

川崎市教員育成指標<ステージ0>は、川崎市の教員を目指す人が、教員になるための資質・能力を伸ばしていこう、自ら成長していこう、そのために、どういう生活をすべきか、どういう経験をしようか、といったことを考え、実践するための指針として活用されます。

川崎市では、この指標に示した内容を大事にしており、教員となったあとも、教員としても人間としても、さらに伸ばしていくことを大事にするとともに、毎日の教育活動や研修を通して伸ばしていくことができるよう支援していきます。川崎市は、川崎市で教員として生きていこうとする皆さんを待っています。

川崎市の教員として
着任時に求められる
資質・能力

ステージ0	
川崎市の教員を目指す学生や社会人(非常勤講師を含む)	
子どもに寄り添い、子どもの願いを受け止め、子どもに意欲と感動を生み出していくことのできる教師を目指す	
川崎市が着任時に求める教師像	
子どもの話にきちんと耳を傾けることができる教師 子どもと一緒に考え行動することができる教師 子どもに適切なアドバイスを与えることができる教師 教材研究がきちんとできる教師	
○ 教職を担うにあたり、教員として必要となる素養を身に付ける 教育に対する真摯な姿勢と子どもへの深い教育的愛情をもち、教員として求められる資質・能力の基盤を形成します。	

教員としての 基礎的資質・能力	教員として学び続ける力
	人間性を高める
	社会性を高める
	自らを律する

教員としての専門的資質・能力	学習指導等	学習指導要領等、学習指導に必要な基礎的な知識について理解するとともに、授業の目標を明確にし、目標の実現に向けた指導展開を踏まえた授業づくりを行うとする ・子どもが意欲を持ち、わかる授業を実践するために、子どもの学習状況や実態を把握し、教材研究を行う大切さを理解している ・子どもの理解を助けるために、ICT等の教育機器や教材教具を効果的に授業に活用しようとしている ・学習状況を目標に準拠して評価し、それを指導に生かすことの趣旨について理解している ・授業計画に基づいた学習指導案を作成することができる
	児童生徒指導等	子どもの発達の段階と子ども一人ひとりの実態把握の必要性について理解し、子ども一人ひとりに向き合い、子どもの話に耳を傾け、子どもと一緒に考え行動しようとする ・子ども一人ひとりを理解し、一人ひとりを生かしながら、集団として成長させるための指導の大切さを理解している ・障害のある子どもや日本語指導の必要な子ども、不登校の子ども等、特別な配慮を必要とする子どもの個性を認め、一人ひとりのニーズに応じた指導を行う必要性を理解し、その方策を考えようとしている ・子どもの個々の教育的な課題を捉え、状況に応じて子どもにもアドバイスを与えようと努めている
	マネジメント	学校組織や校務分掌、学級担任の役割や仕事内容を理解し、組織の一員として行動している ・周囲の意見を聴き、適切なコミュニケーションを図りながら、集団の中で、協動的に行動することの大切さを理解し、チームワークを大事にして行動している ・学校において保護者や地域等と積極的に関わることの必要性を理解し、普段から意識的に行動している ・子どもの安全安心を大事にし、学校で起こりうる危険や問題について未然に考えることの大切さを理解している

養護教諭としての専門的資質・能力	保健管理	学校保健安全法に基づいた適切な救急処置等の保健管理について理解し、実践しようとしている
	保健教育	学習指導要領を理解し、保健教育に必要な基礎的な知識を有し、学習指導案を作成することができる
	健康相談	健康相談の法的位置付けを理解し、基本的な知識及び相談技術を有し、子どもに寄り添う姿勢をもっている
	保健室経営	養護教諭の役割と保健室の機能について理解し、子どもの健康づくりを推進しようとしている
	保健組織活動	校内の保健組織や、学校保健委員会等の役割について理解している
	学校マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画の法的位置付けを理解している ・安全で安心な学校をつくる意義を理解し、危機や課題が発生した場合に組織の一員として適切に対応しようとしている

学校栄養職員・栄養教諭としての専門的資質・能力	給食管理	学校給食の役割について理解し、適切な栄養管理を実施しようとしている
	栄養管理	
	衛生管理	衛生管理の重要性を理解し、適切な衛生管理を実施しようとしている
	研修・調査等	研修会に参加する意欲を持ち、子どもの実態を把握するための調査の意義や方法を理解している
	給食の時間	学校給食を生きた教材として活用する意義や方法を理解し、食に関する指導を実践しようとしている
	個別的な相談指導	食物アレルギー、偏食、肥満・やせ等の子どもの健康課題を理解し、個に応じた相談指導に取り組みようとしている
	教科等	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導の全体計画を管理職や関係教職員と連携や協力をし、作成することの大切さを理解している ・食に関する指導を管理職や関係教職員と連携や協力をし、指導する内容の基礎基本を理解している ・栄養教諭を中核としたネットワーク支援*の取組とその意義について理解している
	食に関する指導	
	ネットマネジメント	食物アレルギー、食中毒、異物混入等危機管理に関する基礎的な知識を身に付け、危機や課題が発生した場合に、組織の一員として適切に対応しようとしている

* 栄養教諭を中核としたネットワーク支援・・・神奈川県が進めている取組。本市においては、複数の中学校で構成するネットワークを構築し、栄養教諭が中核となり、学校栄養職員や中学校の食育担当者と連携しながら、食育の推進を図る。

○本市においては、学校栄養職員を新規採用し、在職期間が8年以上の者を対象に特別選考を実施し、合格した者を栄養教諭として任用していることから、育成指標には両者が含まれて示されている。

養護教諭育成指標<ステージ0>の活用

近年、子ども等の健康課題等が複雑化・多様化しており、これらの課題に適切に対応するためには、学校保健において重要な役割を担っている養護教諭のさらなる資質の向上を図ることが一層重要となっています。そのような状況の中、「学び続ける教員」の姿勢を学生の段階から意識し、学ぶことへの意欲や関心を高く持ち、自らの成長のための様々な方法や手段を身に付けながら、より実践力のある養護教諭を目指してほしいと考えます。

川崎市養護教諭育成指標は、川崎市が求める養護教諭の専門的な資質・能力について示したものです。ステージ0は、着任時の姿を示しています。川崎市の養護教諭を目指す学生が大学等で学ぶ際、養護教諭として着任するまでに何を身に付ければよいかを確認し、大学での学びに関連付けながら、養護教諭としての素地を培ってほしいと考えます。

養護教諭育成指標は、養護教諭の職務とされる「保健管理」「保健教育」「健康相談」「保健室経営」「保健組織活動」5つに、「危機管理」と「学校保健計画の策定」に関する「学校マネジメント」を加えた6項目に分類し、それぞれについての各ステージにおける資質・能力を示しています。

ステージ0については、ステージⅠの内容を踏まえ、養護教諭として初めて学校に着任した時に身につけているべき資質・能力について示しています。着任時の姿としては、養護教諭の職務について学校保健安全法等の法的な位置付けを理解している、学習指導要領に基づいた保健教育に必要な知識を得ていることが求められます。また、健康相談を行う立場であることから、子どもに寄り添い、子どもの話に傾聴して信頼関係を築いていこうとする姿勢を持つことも大切なことです。また、子どもの健康づくりを推進していこうとする姿勢や、校内の組織を意識して教職員と協力しながら保健室を運営していこうとする姿勢を持っていることも大切であると考えます。

着任後には、ステージⅠの研修として「初任者研修」「2年目研修」「3年目研修」があります。研修の中ではステージⅠに求められる資質・能力を育てていきます。ステージⅠの資質・能力を踏まえてステージ0の資質・能力を示していますので、円滑な着任にむけての参考にもなります。

川崎市の養護教諭を志す学生がステージ0の姿を目指して、自らの資質・能力の向上を図り、川崎市の教員として着任されることを期待しています。

学校栄養職員・栄養教諭育成指標<ステージ0>の活用

川崎市では、学校給食を活用した小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進により、子どもたちが様々な経験を通じて「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎を育むことができるよう取り組んでいます。

また、平成29年度からの中学校完全給食全校実施にあたり、「栄養教諭を中核としたネットワーク支援」の取組として、栄養教諭が小学校で実践してきたノウハウを生かし、中学校への継続した給食指導や各教科等と関連付けた食育等について、資料提供や指導助言を行い、学校栄養職員も協力しながら進めています。

川崎市の栄養教諭は、学校栄養職員から特別選考し任用していますが、学校栄養職員も実際に学校給食の献立作成等を担う者であることから、学校給食を生きた教材として活用し得る立場として、ティーム・ティーチングや特別非常勤講師などにより取り組んでいます。

○着任時の学校栄養職員に求めること

着任時には、栄養士免許の取得者として養成施設で学んだことや、川崎市の学校給食等の状況を把握しているうえで、学校給食法をはじめとする法令等や学校給食の役割、学校給食を活用した食育、食物アレルギー等についての「基礎・基本となることを理解するとともに、学校栄養職員として取り組む姿勢」が求められます。業務の執行に必要な知識・技術等の習得に努め、それらを活用して、業務を適正かつ円滑に処理しようとする姿勢が大切です。

また、組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員との良好なコミュニケーションの確保に努め、管理職への報告・連絡・相談を適切に行うなど、組織内のチームワークの向上に貢献する姿勢も求められます。

知識や技術は、学校栄養職員の業務を遂行していく中で積み上がっていくものですので、はじめは、対話する力、考え抜く力、前に踏み出す力、伝える力、やり抜く力、を少しでも身に付けてほしいと考えます。

○学校栄養職員・栄養教諭育成指標<ステージ0>とは

学校栄養職員・栄養教諭として求められる専門的資質・能力の分類については、大きく『給食管理』、『研修・調査等』、『食に関する指導』、『学校マネジメント』の4つとし、さらに、『給食管理』を「栄養管理」、「衛生管理」、『食に関する指導』を「給食の時間」、「個別적인相談指導」、「教科等」に、それぞれ分け、7つとしました。『学校マネジメント』については、食物アレルギー、食中毒、異物混入などの学校給食に関する「危機管理」について、学校組織の一員としての対応を示しています。

特に、給食管理は栄養の専門性が必要とされ、学校栄養職員・栄養教諭が重要な役割を担っています。安全・安心で美味しい学校給食の提供が、食に関する指導の教材となり、学校における食育が広がっていく基本となるものと考えています。

川崎市の教員を目指す方へ

子どもたちとともに学び続ける教員であるために

川崎市教員育成指標〈ステージ^{ゼロ}0〉

作成・編集

川崎市教育委員会事務局

職員部教職員人事課・学校教育部健康教育課・健康給食推進室

川崎市総合教育センター カリキュラムセンター

発行

川崎市教育委員会事務局 職員部教職員人事課
